

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：土地水政策課  
 担当名：水源地域対策担当  
 内線：2189

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金事業費負担金			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	公益財団法人利根川・荒川水源地域対策基金事業費負担金	
事業期間	昭和52年度～平成44年度	根拠法令	水源地域対策特別措置法			戦略項目			
					分野施策	010405 安全な水の安定的な供給			
1 事業の概要			5 事業説明						
水源地域整備事業を補完し、きめ細かな水源地域対策を行うために設立された、公益財団法人利根川・荒川水源地域対策基金が実施している事業費助成に対して、協定書に基づき負担金を支払う。 事業費負担金は、埼玉県水源地域対策基金から65%、一般財源から35%の割合で支出している。 (1) 事業費負担金 $\Delta 318,099$ 千円 ハツ場ダム 地元調整による事業の減 (2) 関係都県打合せ $\Delta 7$ 千円 事務費の節約による減			(1) 事業内容 ア ハツ場ダム 406,233千円 群馬県がハツ場ダムに係る水没関係住民のために実施する事業について助成を行う。 (イ) 生活再建対策事業費助成 32,290千円 不動産取得対策費、生活相談員設置費、職業転換費、現地生活再建支援事業 (ロ) 地域振興対策事業費助成 336,534千円 住民総合センター整備事業、J R長野原草津口駅周辺整備事業、長野原町温泉施設整備事業、川原湯地域振興施設整備事業 (ハ) 調査費助成 37,409千円 地元生活再建のための調査費、委託費、生活相談員の行う先進地調査・研修、公用車維持費など イ 思川開発施設 235千円 栃木県が思川開発施設に係る水没関係住民のために実施する事業について助成を行う。 地域交流施設振興対策事業 上下流交流事業 ウ 関係都県打合せ 67千円 (2) 事業計画 基金事業は、ダム建設事業の補償や水源地域整備事業では不十分な点を補完するためのものであり、それぞれの事業の進捗に応じて、緊急性や必要性の高い事業を進めていく。 (3) 事業効果 地域住民が安心して生活再建、地域振興に取り組めることで、家屋移転やダム建設の促進に寄与する。 ハツ場ダム家屋移転数 平成26年度：458世帯(97%)→平成31年度：470世帯(100%)(目標) 思川開発施設家屋移転数 平成26年度：80世帯(100%)(移転完了) (4) 補正予算の概要 事業費負担金：地元調整により、事業量の減に伴う減額。 関係都県打合せ：事務費の節約による減額。						
2 事業主体及び負担区分									
事業主体：公益財団法人利根川・荒川水源地域対策基金 負担区分：ハツ場ダム(県36.84/100)他都県63.16/100 ・事業者0、思川開発(県30.5/100)他県69.5/100・事業者0									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.7人=6,650千円									
			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
予算額		繰入金							
決定額	$\Delta 318,106$	$\Delta 206,764$						$\Delta 111,342$	88,429
現計額	406,535	264,203						142,332	